

Saori Ikeuchi TIMES / no.012 / 2019.12.8 sun.

TOKYO 12 HAUS

〒115-0042
東京都北区志茂
2-53-7

日本共産党
衆院東京12区
池内さおり事務所

池内さおり通信

電話：03-5939-6581 ファックス：03-5939-6582 メール：tokyo12haus@saori-ikeuchi.com

トークセッション「LGBT ブーム その先へ」開催

池内さおり事務所で11月24日、トランスジェンダーのケイさんをゲストに迎えたイベントが開かれました。

「LGBT」という言葉は知られるようになった一方で、典型的な性的規範にはまらない人々にとっての制度的な不備は未だ多いことや、性自認や性的指向は一部の少数者の問題ではなく、誰もが少しずつ異なるグラデーションの中に位置する当事者であることなどが、会場からの質問も交えながら豊かに語り合われました。

会には26名が参加。「トランスジェンダーの方のお話が聞け、日本の制度の現状を知れてとても貴重でした。この国の生きづらさを解消していくのは緊急な課題だと思った」「今日のお話を聞いて明るい未来が少し見えるような気持ちになれた」など多くの感想がよせられました。



語り合う池内さん(左)とケイさん

色あざやかな社会へ

Column vol.12

母のサボテン

高知のイベントにお招きいただいた帰り、愛媛まで足を延ばし母のもとへ。行事などで年末年始は帰省できないので貴重な時間になりました。

母の誕生日に、靴を買いました。歩きやすい靴が欲しかったとのこと。私はカラフルな靴を履いてもらいたかったので、グリーンのスニーカーを選びました。「自分だったら選ばん色やけんよかった」と、母も満足してくれました。

今回驚いたことは、庭にサボテンがあふれていたこと！「いくらでも増えるんよ」と、せっせと育てて来たそうです。「植物を見るのが一番の楽しみ」という母の手にかければ、葉っぱはみるみる生命を帯び、花は瑞々しく咲き誇ります。このサボテンたちも、初夏に150もの花を咲かせたそうです。通りすがったある方が「見事だったので現像しました」と、思わず写真を撮り母に渡しに来てくださったとのこと。

手入れが行き届いて整然、などとはかけ離れた庭。でも土はたっぷり栄養を含み、根を張る植物を歓迎している。母のこだわりや気持ちがあたふたり詰まった庭を、私も誇らしく思います。



池内さおり
Saori Ikeuchi
前衆議院議員

毎月12日は

TOKYO 12 HAUS の日

池内さおりは毎月12日、「TOKYO 12 HAUS」にあります。お気軽にお立ち寄り下さい。

池内さおり
トークタイム

TOKYO
12
HAUS

12月12日(木) 14:00 - 16:00
1月は年始の諸行事のためお休みします



青年・学生と語るつどい 各地で



宮城での集いに参加したみなさんと

池内さんは11月、各地の青年・学生の企画に招かれ、語り合いました。

宮城では「ジェンダーから考える“ジブンらしさ”」と題するイベントで講演し、20名が参加。「性差別と社会制度が深く関係していることがわかった」「企画をして本当によかった。日常で感じるジェンダーのおかしさを曖昧にしていたのは、向き合うには勇気が必要だし、気付かないようにさせられているからだ気づいた」などの感想が寄せられました。

都内では、二つの大学、また医療関係の学生が集う民青同盟の班会にそれぞれ参加。どの会でもジェンダー問題への関心が高く、学生からは「日本での議論が世界から見てかなり遅れていることは問題で、早く改善したい」「苦しんでいる人を制度が救わなければいけないのに、逆に苦しめているのが許せない。法改正も必要だし、みんなの認識も変えていかなくてはと思った」などの真剣な意見が語られました。

気候変動、災害対策 語り合う

11月16日、足立区の江北地域党後援会で「池内さんを囲むつどい」が開かれました。池内さんは、日本政府が災害対策や気候変動に正面から向き合った政策を持っていないと指摘し、安心して使える避難所づくりに税金を使うべきだと訴えました。

14名の参加者からは、台風19号の際に学校体育館に避難した体験や、家族が寝たきりで避難できなかったことなどが話され、自然災害に対応できる制度や体制をつくるためにも早く野党連合政権を実現しようと語り合いました。



台風の翌日の岩淵水門

政治の私物化ゆるさない！ 12区内の街頭で訴え

池内さおりさんは11月、「桜を見る会」の私物化疑惑や消費税増税などの問題について、日本共産党後援会の皆さんらとともに12区内で訴えました。

「姉は国民年金だけで暮らしていて生活が本当に大変。税金を使ってお花見、しかも支援者をたくさん招待しているなんて許せない」との怒りの声や、「桜を見る会は税金でやっているのか。それじゃみんなが怒るのは当然。頑張ってくれ」との激励などがよせられました。

訴えは17日に北区赤羽のララガーデン、20日に足立区内3カ所で行われ、短時間に多くのビラが受け取られるなど、問題への関心と怒りの強さが示されました。



赤羽で訴える池内さん（右から2人目）

刑法性犯罪規定の見直しに向けて 雑誌企画で座談会

市川房枝記念会女性と政治センターが発行する雑誌「女性展望」2019.11-12月号に、池内さんが参加した座談会『刑法見直しで性暴力のない社会へ』が掲載されました。

伊藤和子さん、戒能民江さん、佐藤香さん、山本潤さんと、さらなる刑法性犯罪規定の改正を実現するために語り合っています。

1月の
IKEBA
ワーク
ショップ

Protest Too 性暴力と闘う香港民主化運動

民主化運動が高まりを見せる香港。権力が持ち込む性暴力にあらがい、運動も進化しています。池内さんと研究者とが、香港民主化運動の今を熱く語り合います。

【熱田 敬子 あつた けいこ】

フェミニスト、アクティビスト、研究者、中国語通訳・翻訳。専門はジェンダーと社会学。2014年から香港の民主化運動とジェンダーについても研究している。

日時 1月25日（土）
14:00～16:00

場所 Tokyo12HAUS

参加費 300円
(お茶・お菓子付
お子さん無料)